

被災地支援活動

東日本大震災の被災地では、足の悪い方や高齢の方にとって、牛乳パックを使った椅子がとても重宝されていると聞き、老人福祉センターと障害者福祉センターの利用者が、被災地に送る椅子の製作に取り組んでいます。1つの椅子を作るのに牛乳パック50個が必要ですが、みんなで協力してパックを重ねながら頑丈な椅子を作っています。



多治見市社会福祉協議会 福祉課 老人福祉センター

介助ボランティア講座を開催しました

10月11日、12日の2日間にわたり、視覚障がい者のガイドヘルプの介助ボランティア講座を開催しました。1日目は、総合福祉センターと太平公園において、ガイドする際の注意点やさまざまな場面でのガイド方法を学び、2日目には、視覚障がい者の方が通う教室で、ガイドヘルプの実践に取り組みました。



多治見市社会福祉協議会 福祉課 障害者福祉センター

多治見のお元気さん

今日のお元気さんは、北川春子さん(90歳)です。

北川さんは、現役の三味線のお師匠さんで、若い時には30人近くの生徒さんを教えていました。今は、週1回、デイサービスセンターを利用しながら、友達とのお付き合いや外出も楽しんでいます。デイサービスセンターでは、いつもおしゃれて明るく、ムードメーカーとなっていて、三味線を披露したりして気持ちも若く、何にでも前向きに取り組む、他の利用者さんやお弟子さん、お孫さんにも愛されています。

「今の楽しみは、お弟子さんたちとカラオケや食事会に出掛け、大好きな歌を歌うこと」と、とても楽しそうに笑顔で話されました。



三味線を披露する北川さん

多治見市社会福祉協議会 介護支援課 南姫地域包括支援センター

障害者福祉センター 俳句コーナー

山里の 高い山々 秋深し
池尾 義雄

腰おろし ^{はくじょう}白杖の先 木の実おつ
木村 孝一

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。

※社会福祉法人＝社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

